

国民が安心できる 医療制度をつくるために

日本医師会の医療構造改革構想

2001年4月

I

日本の医療制度は 世界に誇れる優れたものです。

国際的に見た日本の医療制度

世界の人々の健康を守るため活動している世界保健機関(WHO)が、昨年世界各国の保健医療制度を比較した結果を発表しました。

その中で日本の医療は、極めて高い評価を受け世界のトップにいます。

(図1参照)

このような高い評価を受けながら、低い医療費に止まっていることも日本の医療制度の特徴のひとつです。

日本の医療制度は、世界一の長寿国、世界一低い乳幼児死亡率の実現に大きく貢献しています。(図2参照)

一方、世界各国の医療費を調べている経済協力開発機構(OECD)は、日本の医療費が世界の各国と比べてとても安いことを指摘しています。(図1参照)



私たちは、このようなことを当然のこのように受けとりがちですが、他の国の人々からみると、うらやましい限りなのです。このような国民の財産ともいえる制度を守り続け、質のいい医療を準備していくことが、日本医師会の責任だと考えています。

日本の医療と外国の医療の比較

図1.健康寿命と医療費

	世界保健機関 (WHO)			経済協力開発機構 (OECD)	
	健康達成			一人当たり国内総生産 (GDP) 1998年	総医療費と国内総生産との比 1998年
	健康寿命	健康 平等性	健康達成度の総合評価		
日本	1位	3位	1位	5位	18位
オーストラリア	2	17	12	17	7
フランス	3	12	6	12	5
イタリア	6	14	11	16	14
カナダ	12	18	7	18	6
英国	14	2	9	14	21
ドイツ	22	20	14	8	3
米国	24	32	15	4	1

高い評価

低い医療費

出典：WHO（世界保健機関）World Health Report 2000, OECD（経済協力開発機構）OECD HEALTH DATA 2000
 注：WHO・OECD加盟国のうち、主要8カ国のランキングを示したものである。健康寿命とは、健康で自立して生活できる年齢をいう。国内総生産（GDP）とは、国の経済力の指標。平等性とは、年齢や地域間の格差がないことを示す指標。

図2.乳幼児死亡率(出生千人対)、平均寿命の国際比較

	乳幼児死亡率 (出生千人対)	平均寿命	
		男	女
日本	3.6人	77.1歳	84.0歳
スウェーデン	4.0	76.2	81.4
イギリス	6.1	74.3	79.5
フランス	4.9	74.6	82.2
ドイツ	5.0	73.3	79.7
米国	7.6	73.6	79.4

一番低い

一番長い

出典：WHO World Health Statistics Annual, UN Demographic Yearbook
 注：諸外国との比較は、国により作成期間が異なっており、本比較は各国の直近のデータによる比較である。

II

日本の医療保険制度には、 3つの優れた特徴があります。

日本の医療保険制度の優れた特徴の第一は、すべての国民が公的な医療保険に加入していることです。(= 国民皆保険体制)

もうひとつの特徴は、安い費用で満足できる質のいい医療が受けられる安定感のある方式です。

希望する医療がすぐに受けられ、その費用は保険組合などから医師に支払われる方式です。(= 現物給付方式)

3つめの特徴は、「いつでも、だれでも、どこでも」保険証を使って、何の制限も受けずにどこの医療機関でも、どのお医者さんにでも自由に診てもらえて治療が受けられることです。(= フリーアクセス)



日本の医療保険:3つの特徴

医療保険制度

国民皆保険体制

現物給付

フリーアクセス



III

なぜ今医療制度を 改革しなければならないのでしょうか。

人口構造の変化（高齢化、少子化、人口の減少）は、多くの社会問題を生み出します。（図3、4参照）

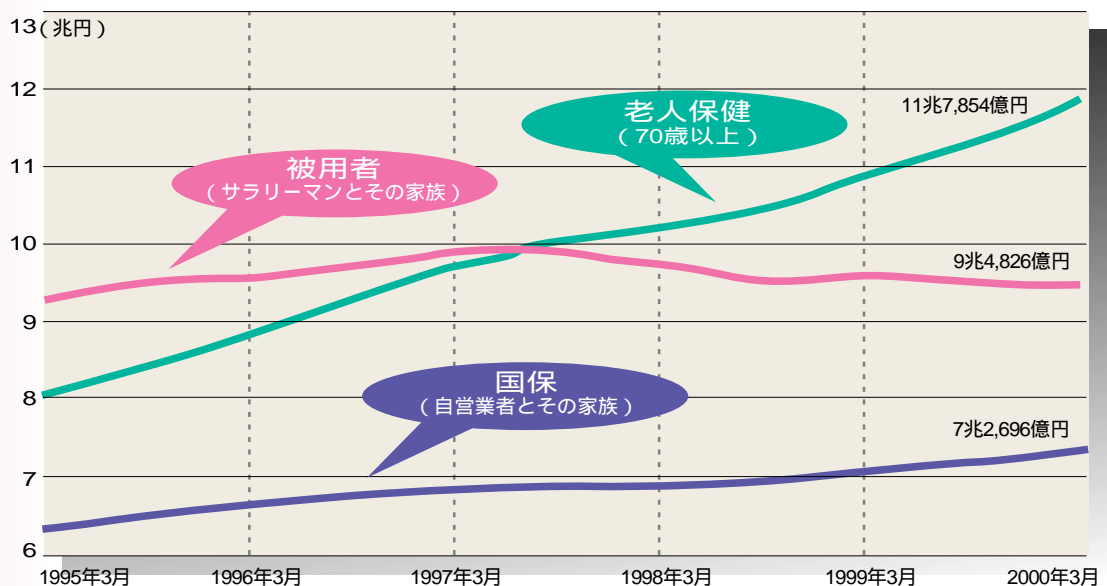
現実に、優れた特徴を持つ医療保険制度にもほころびが目立つようになってきました。

ほころびの最大の原因は、老人医療費の増大です。

老人が増えるので、ある程度の伸びは当然のことですから、なだらかな伸びにしていく工夫が必要です。（図3、4参照）

安心して子供が産める環境が整っていません。小児救急医療体制の整備とか、保育所の増設とか、子育てを支援する環境をつくり上げることに至急取りかかるべきです。（図5参照）

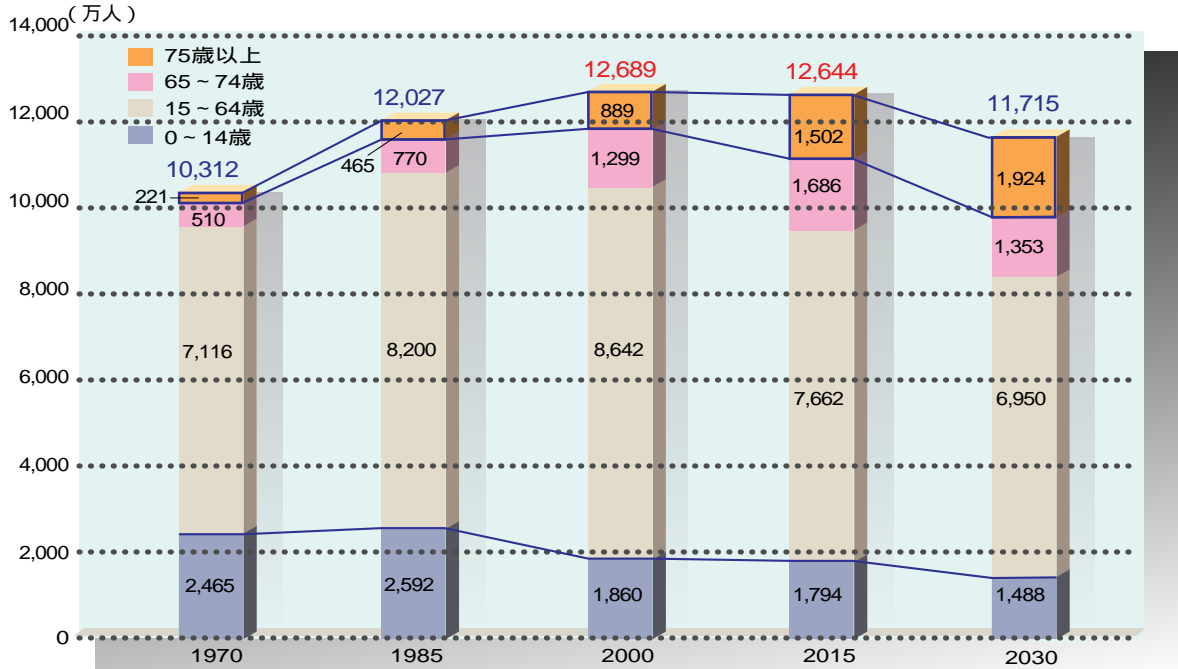
図3. 医療費の推移:老人医療費は伸び、被用者保険は減っています。



出典：社会保険診療報酬支払基金「基金統計月報」、国民健康保険中央会「国保連合会審査支払業務統計」 注：公費負担医療費等を除く

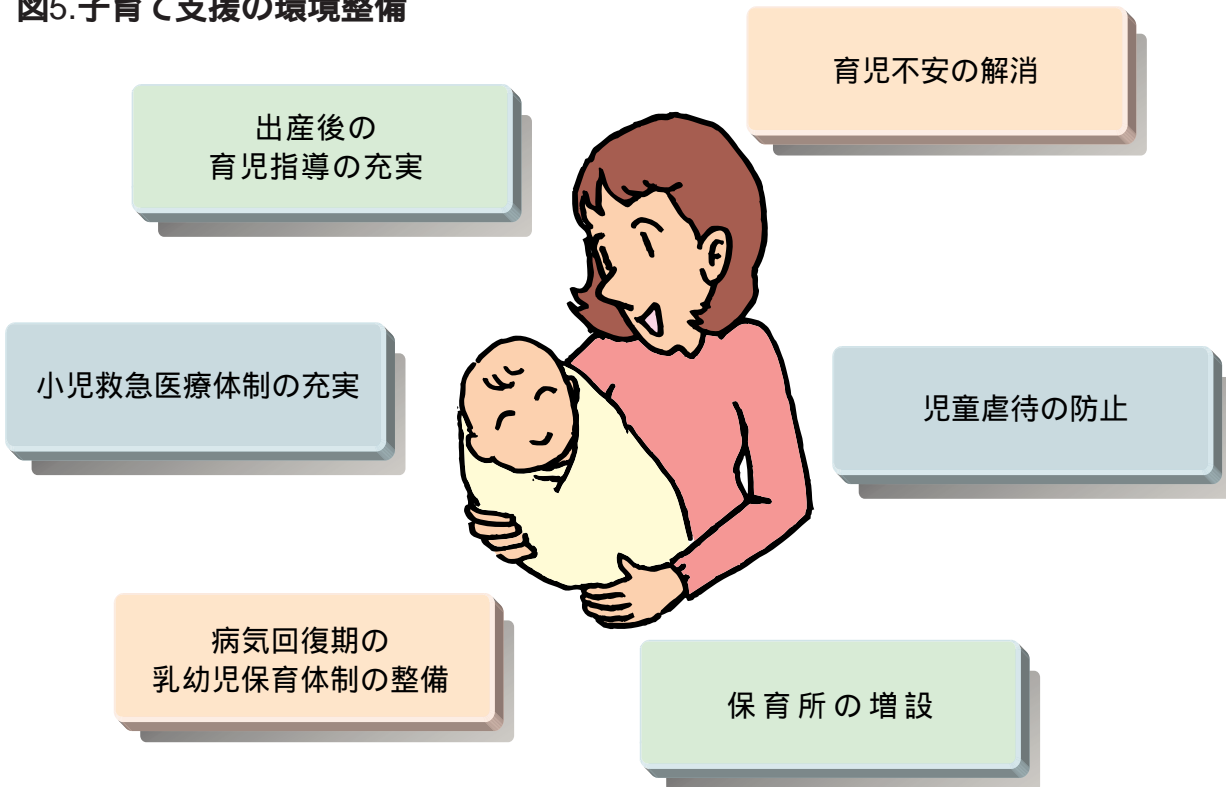
医療保険を取り巻く環境の変化

図4.日本の人口の将来予測:総人口の減少と75歳以上の後期高齢者増が同時進行します。



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口,平成9年1月推計」,総務庁「国勢調査」

図5.子育て支援の環境整備



IV

国はどのように対応しようとしているのでしょうか。

国はこのような事態に対して、高齢者や家計に負担を求めるという政策をとろうとしています。

そのうえ、国の財政悪化の元凶が「医療費」にあるとして、医療費抑制の必要性を説いています。



しかし、過去10年間の国家財政の増加額に占める医療費増加分は、わずかに1割強に過ぎません。医療費が増えたから国家財政が悪化した訳ではないのです。

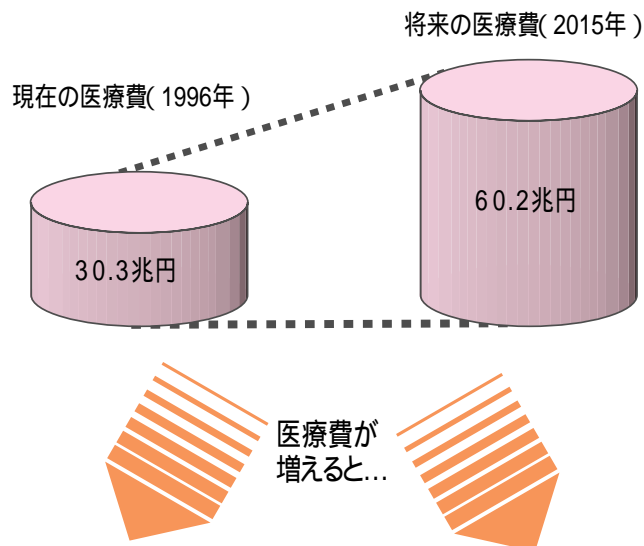
医療はわが国の経済に多大な貢献をしています。医療費の理不尽な抑制は、雇用や税収を減らし経済不況をより深刻化させることは明らかです。

(図6参照)



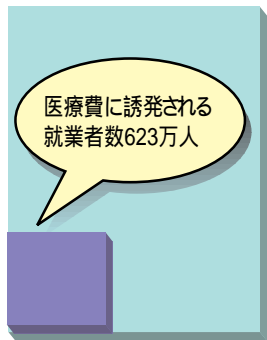
医療は未来を支える産業

図 6 将来医療費に伴う生産波及等の推計



雇用の増加

全国の就業者数6,486万人



1996年

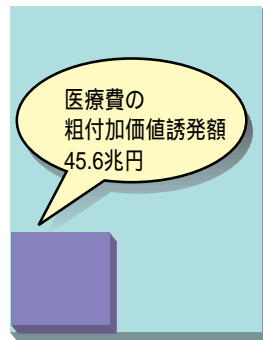
全国の就業者数6,162万人



2015年

生産活動の活発化

GDP(国内総生産額)500.3兆円



1996年

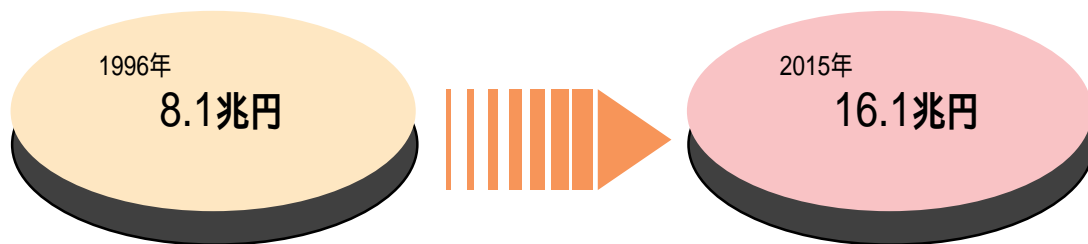
GDP(国内総生産額)670兆円



2015年

注：粗付加価値誘発額とは、GDPにはほぼ対応するものである。

税収誘発額





日本医師会は、日本の医療制度の 優れた特徴を守った改革を提案します!

ひたすら高齢者や家計に負担を求める単純な政策では、この厳しい時代を乗り越えることはできません。

日本医師会は、すでに述べた日本の医療制度の優れた特徴、つまり国民皆保険体制、現物給付制度を堅持し、患者さんのフリーアクセスを保証しながら改革を進めることを提案しています。

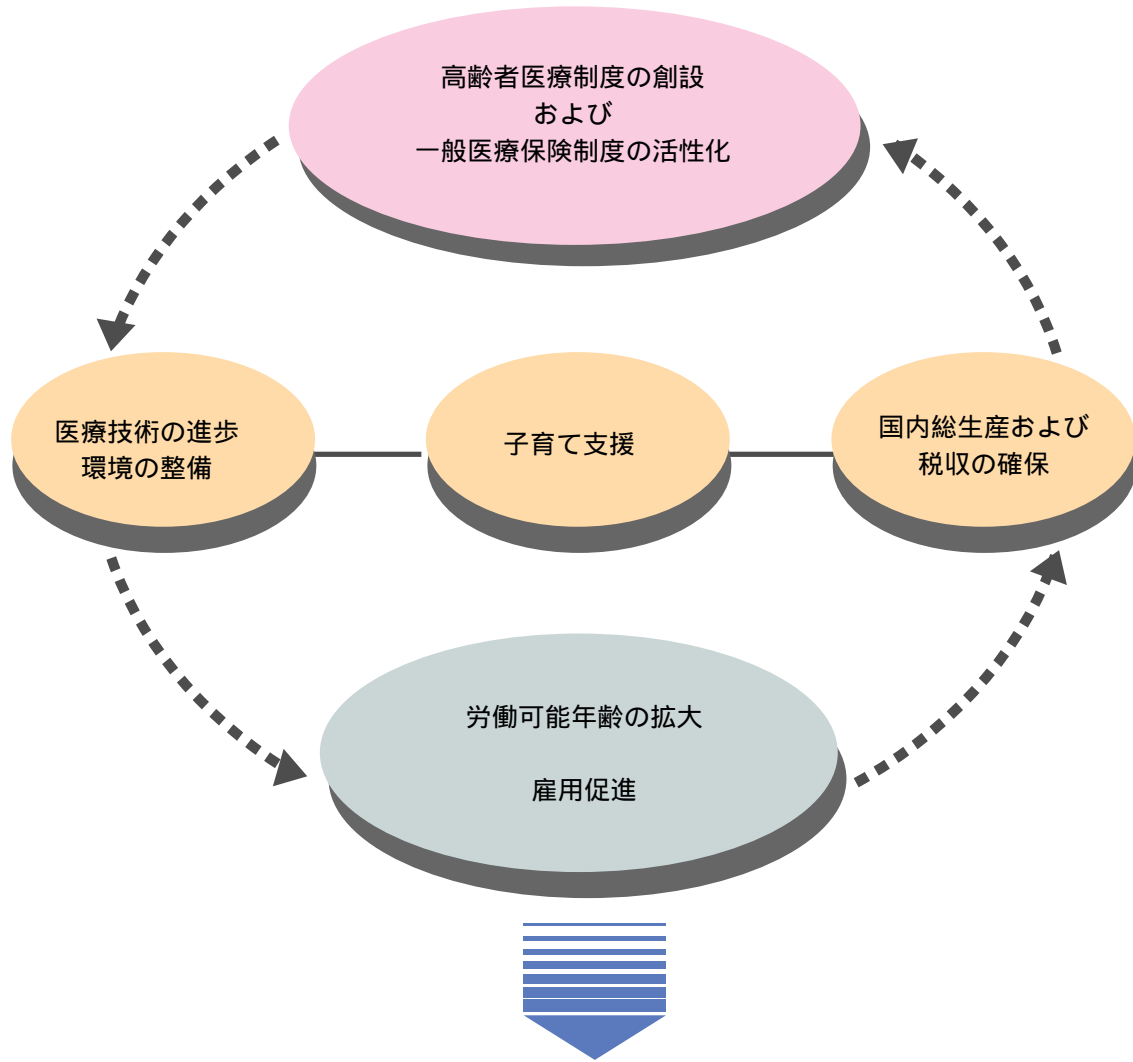
まず、日本医師会は医師自身の意識改革に取り組めます。

- ・ 安全で質の高い医療を提供することに全力を傾けます。
- ・ 正しい医療情報をわかりやすく提供する努力をします。それによって、患者さんは自分の病気をはっきりと判断できて、自分にあった病院やお医者さんを選んで診てもらえるようになります。
- ・ 積極的に病気の予防や健康管理のお手伝いに取り組めます。
- ・ 予防や治療などの医療は健康をつくり、心もからだも自立した生活をおくるための「投資」だという考え方の普及に取り組み、国全体が医療は「消費」ではないことを理解できるように説得します。



**患者さんと医師との強固な信頼関係を基盤にした、「安心して暮らせる安定した医療制度の構築」が日本医師会の願いです。
そして、活力のある希望に満ちた社会づくりを目指します。**

活力ある少子高齢社会のために



活力ある安心できる社会の構築



日本医師会 医療構造改革構想

日本医師会は次のような手順で活力のある希望に満ちた社会づくりを目指します。

現在の老人保健制度は70歳以上が対象です。それに代えて、75歳以上の後期高齢者を対象とした「高齢者医療制度」を創設します。高齢者にふさわしい医療や医療費の体系をつくり、高齢者医療費の増加に歯止めをかけます。財源は主に公費とすることで高齢化に伴う医療不安を取り除きます。

保険料は74歳以下を対象とした医療保険制度に投入し、医療や予防および健康増進のための技術進歩を図り、国民の健康寿命を延ばします。

労働可能年齢を74歳まで引き上げることによって、生産に携わる人口が減少する社会の中での雇用を維持し、経済を活性化させ、GDPや税収を確保します。その結果、家計、事業主、公費の負担能力を維持向上させることができます。

3つの目標

国民皆保険体制の維持
現物給付制度の確保
医療の質の維持向上

4つの基本理念

意識構造改革
情報構造改革
制度構造改革
コスト構造改革

5つの具体的方策

高齢者医療制度の創設
薬剤制度の改革
医療提供体制の再構築
診療報酬体系の改革
生涯保健事業の推進



読んでくださった皆さんへ！

安心して子供が産める社会、老後の生活に不安がない社会をつくるため、日本医師会は「医療構造改革構想」をつくりました。

皆様のご協力をいただいて、さらに生活に役立つ計画をつくりたいと思います。

是非、ご意見をお聞かせください。

日本医師会

会長 坪井 栄孝

日本医師会の医療構造改革構想についてさらに詳しくお知りになりたい方は、日本医師会のホームページをご覧ください。
ご意見等につきましては、日本医師会保険医療課まで、お手紙、お電話・FAXにてお寄せ下さい。

ホームページアドレス

<http://www.med.or.jp>

住所

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16

日本医師会 保険医療課

TEL.03-3946-2121 FAX.03-3946-6295

国民が安心できる 医療制度をつくるために

日本医師会の医療構造改革構想

発行 日本医師会

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16

TEL.03-3946-2121

発行人 日本医師会 会長 坪井 栄孝

平成13年4月 発行